

外部被爆と内部被曝(被爆)

一広島・福島ヒバク問題の本質に迫る



語り人 鎌田七男先生

1937年生まれ、広島大学名誉教授 広島大学医学部卒、広島大学医学部付属被爆内科助手、同大学原爆放射能医学研究所教授、同所長を経て現在に至る、1999年中国文化賞他、著書多数、

【開催趣旨】

今回は建築やまちづくりと異分野のテーマで、放射線、被爆・被曝問題です。自然界にはないレベルで人間が創りだした放射線・放射能の正体はなんでしょうか。核が分裂したり融合したりする際に発する莫大なエネルギーや危険物質、広島でどのようなことが起きたのでしょうか。その結果はどのように人体や自然界に影響を与え、さらに後障害と言われる今も続く被害を残したのでしょうか。そして、原発が暴発したときどのような新たに深刻な問題が拡大し、どのように長期的な影響が存続するのでしょうか。それは広島とはどのように相違するのでしょうか。鎌田先生から物理的、医学的、社会的、そして歴史的な観点からも基礎から教えていただき、質問に答えていただきたいと考えております。

なお、この会を開始して以来丸5年経過しましたので、会の終了後忘年会・反省会を兼ねて懇親会を開催しますので併せてご参加を呼びかけます。

日時 2017年12月1日(金) 18:30~20:30
場所 合人社ウェンディひと・まちプラザ
研修室B(北棟5F)

〒730-0036 広島市中区袋町6-36 ☎082-545-3911

<http://www.cf.city.hiroshima.jp/m-plaza/shietsu.html>

参加費 1000円

(資料費・会場費として、ただし学生・院生は無料)

定員 55名程度まで

今回は事前申し込みをお願いします。ご参加の場合できれば前日までにメールまたはFAXで語る会実行委員会まで懇親会(反省会・忘年会)への出欠を含めてご連絡ください。

主催 時代を語り建築を語る会実行委員会
後援 (公社)日本都市計画学会中国四国支部
(一社)日本建築学会中国支部
(公社)広島県建築士会

第19回時代を語り建築を語る会実行委員(敬称略 50音順)

石丸紀興 岡河 貢 北本拓也 小泉直子 佐伯達郎
柴田直美 高東博視 瀧口信二 福馬晶子 前岡智之
松本富美 松波龍一 三宅恭次 森保洋之 八幡 毅
山下和也 山田 康 渡部久仁子 渡部朋子 李明

語る会連絡先 広島諸事・地域再生研究所
広島市中区八丁堀1-23 ヴェル八丁堀 1113

TEL/FAX 082-223-7226 nisimar5@hotmail.com

